

新たな都市空間の創出とアートの役割

2019年10月1日（火）16:20—20:00

早稲田大学戸山キャンパス（東京都新宿区 戸山1-24-1）

33号館第10会議室

- 挨拶・趣旨説明
 - ・ 16:20—16:40
長田攻一（都市と美術研究所顧問・早稲田大学文学学術院名誉教授）
坂上桂子（都市と美術研究所所長・早稲田大学文学学術院教授）
- 講演
 - ・ 16:40—17:20
五十殿利治（筑波大学特任教授・国立美術館理事）
「30年代東京の展示空間、画廊と美術館」
 - ・ 17:20—18:00
マーティン・グロスマン
（早稲田大学高等研究所訪問研究員・サン・パウロ大学教授）
「メガシティ、サン・パウロにおけるアートの
ハイパーダイナミックスについて」
—休憩—
 - ・ 18:20—19:00
清水敏男
（学習院女子大学教授・TOSHIO SHIMIZU ART OFFICE 代表取締役）
「都市になぜアートが必要なのか」
—休憩—
 - ・ 19:10—20:00
全体討議
モデレーター：塚原史
（都市と美術研究所顧問・早稲田大学法学学術院名誉教授）
- 懇親会
 - ・ 20:30—

※シンポジウムに事前申し込みは不要です。

※懇親会は参加自由です。

